

大規模地震に備えよう！ 停電



毎日当たり前のように使っている電気が、突然使えなくなったら…！

9月6日未明に発生した平成30年北海道胆振東部地震では、道内全域約295万戸が停電する事態になりました。旭川市内も停電となり、市内全域の復旧には2日間かかりました。身の安全を確保するため、今一度、停電への備えを確認しておきましょう【詳細】防災課☎33・9969

身の安全を確保するために、地震発生時の停電に備えましょう

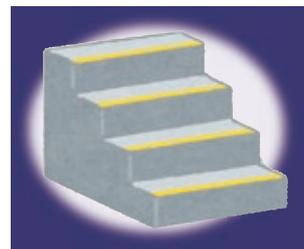
備え① 安全に行動するためには

夜間に停電すると、出口が分からない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です

→ **リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう**



懐中電灯と足元灯とを兼ねて、停電や地震が起きたときに自動的に点灯するタイプが便利です



足元灯の設置が難しい階段などには、蛍光テープを貼るのが有効です

備え② 災害情報を確保するためには

市ではホームページやフェイスブックなどで災害情報を発信しますが、停電時は、テレビや携帯電話などを利用できないおそれがあります

→ **携帯ラジオや予備の電池を常備しておきましょう**



手動で充電できるラジオもあります。また、モバイルバッテリーがあると安心です



ホームページ



フェイスブック

防災協定



ラジオ ケーブルテレビ

地震による電気火災の発生に注意！

地震による火災の半分以上は、電気が原因であることをご存じですか。

地震発生後、自宅を離れるときは、停電時であってもブレーカーを切りましょう。不在中に電気が復旧したときに、地震で損傷した電気配線や倒れた電気器具などからの出火を防ぐことができます。

家庭の備え

ライフライン（電気・水道・ガス）が止まった場合、復旧までの間に役立ちます

- 携帯ラジオ・予備電池
- 懐中電灯（1人1つ）
- 食料最低3日分
- 飲料水最低3日分（1人1日3ℓ）
- ポリタンク
- 生活必需品（トイレトーパー、ランタン、マッチ、カセットコンロ等）
- 暖房類（灯油ストーブ、使い捨てカイロ等）